

3 対応性・更新性		2.8	0.30	3.0	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり		3.0	0.30	3.0	0.50	
1 階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		2.6	0.40		-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性		1.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制	非住宅部分[BPI][BPI _m] = 0.76	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEI _m] = 0.73	4.4	0.50		-	4.4
4 効率的運用		2.0	0.20		-	2.0
集合住宅以外の評価		2.0	1.00		-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制		1.0	0.50		-	
集合住宅の評価					-	
4.1 モニタリング					-	
4.2 運用管理体制					-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.5
1 水資源保護		3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水		3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減		2.4	0.60		-	2.4
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		2.6	0.20		-	2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避		2.5	0.70		-	
1 消火剤		-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)		2.0	0.50		-	
3 冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	2.7
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率=78%	3.8	0.33		-	3.8
2 地域環境への配慮		2.3	0.33		-	2.3
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮		2.1	0.33		-	2.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
1 騒音		3.0	1.00		-	
2 振動		-	-		-	
3 悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		1.6	0.40		-	
1 風害の抑制		1.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制					-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制		1.6	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70		-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	